

市政レポートは、市議会定例会の翌月（1, 4, 7, 10月）に発行しています。

厳しい中から光明を見出したい2010年

昨年は民主党政権の誕生、本市では大豆生田新市長の誕生と、時代の大きな転換期をむかえた感がありました。しかし、長引く不況から抜け出すことはできず、依然として厳しい状況が続いています。本市の来年度予算も、大幅な税収減が見込まれます。ますます知恵を絞ってこの難局に立ち向かっていかなければなりません。

12月議会では、まだアイデア段階ですが、新たな視点でのまちづくりを提案しました。それは、少子化・高齢化社会を乗り切るために、小学校区や中学校区といった地域コミュニティの単位で生活基盤を見直し、足りないところを補い合うという視点で、まちづくりを考え直すというものです。今年は市内の各地域を調査し、希望が持てるまちづくりへの具体的な提言に結びつけたいと思っています。

ごみ袋を値下げして有料化は続行

「足利のごみ袋は高い」との声をうけ、今春から45リットルが1枚60円から15円に、20リットルが30円から10円に、そして、10リットルが15円から7円にそれぞれ引き下げられることになりました。「ごみ袋無料化が公約だったのでは？」との声もありますが、一方で「無料化するとごみが増えてしまう」という市民の声もありました。今回の値下げはその折衷案ともいえます。

確かに、ごみ袋の値下げは市民負担の軽減にはなりません。しかし、ごみ減量には結びつきません。むしろ、ごみが増加してしまうことが懸念されます。12月議会ではごみの分別回収だけでなく、ごみそのものが排出されない工夫を、市民のみならず企業も巻き込んで、知恵を絞る必要性を訴えました。



織原 義明（おりはら よしあき） 略歴

- 1965年 足利市生まれ/西小学校、第一中学校、足利高等学校を経て
- 1989年 山形大学理学部地球科学科卒業
- 1990年 一般企業に入社 塾講師、制作、企画営業を経験
- 1996年 科技厅（現文科省）主導による地震予知研究プロジェクトに参加
理化学研究所研究員
- 2003年 足利市議会議員に初当選
- 2007年 足利市議会議員に二期目の当選、現在は経済環境常任委員

12月定例会一般質問より

◆ 足利のそばを「そば職人のまち」として

<質問内容>

足利のそばはレベルが高いと感じている。しかし、そばを名物として売り出しているまちは全国的に多い。他との差別化や本市のそばの歴史も考慮し、「そば職人のまち」として、売り出すのはどうか。また、秋にはプロによるそば祭りが開かれている。そこで、春には素人によるそば打ちコンテストを行って、名実共にそば職人のまち・そば打ちのまちに育てていくのはどうか。

<市側答弁>

そば職人のまちという切り口は興味深い。それも含めて、そばをどのように打ち出していけばいいかを研究し、結果として交流人口が増えるようにしたい。

◆ かかりつけ薬局やジェネリック医薬品推進のために

<質問内容>

かかりつけの薬局を持つことは、薬害防止や薬の過剰投与を抑制し、患者の医療費軽減ばかりでなく、市の負担軽減にもつながる。また、ジェネリック(後発)医薬品を推進することも、同様のことが期待される。そこで、敬老会などの集会を利用して啓発活動を行ってはどうか。

<市側答弁>

薬を使うことが多くなる高齢者にとっては、経済的負担軽減にもつながるので、敬老会やふれあいサロンなどの機会に周知を行っていきたい。

◆ ごみ減量は排出抑制から

<質問内容>

ごみを削減するには、分別回収によるリサイクル推進も大切だが、その前に繰り返し使うこと(リユース)や、ごみそのものを出さないこと(リデュース)のほうが、先にやるべきことである。しかし、本市の施策はそこが弱い。ごみになってしまうもの自体を減らす為に、スーパーなどの協力も得ながら、その可能性を考えるべきではないか。

<市側答弁>

リサイクルは聞こえはいいが経費がかかるのも事実である。また、リサイクルの前にリユースやリデュースが必要であることもよく理解している。しかし、食品トレイなどは衛生面等の問題もあり、リユースやリデュースが難しい点もある。利用できるものとして何があるのか、その可能性については、婦人団体などにも意見を聞きながら考えていきたい。

* 島原市会派行政視察、第71回全国都市問題会議 *

第71回全国都市問題会議が10月8,9日に熊本市で開かれました。「人口減少社会の都市経営—人・まち・環境 持続可能な社会への転換に向けて—」をテーマに、全国からおおよそ2千名の地方議員や市長などが参加しました。（足利市議会からは会派緑風会2名が参加しました。また、大豆生田市長も参加していました。）

第1日目は基調講演や小布施町の事例報告などが行われ、第2日目はパネルディスカッションが開かれました。2日間の会議で、持続可能な社会への転換に対する妙案が出てきたわけではありませんが、私としては、宇都宮市長が紹介したネットワーク型コンパクトシティという考え方が、今後の本市のまちづくりの参考になると考え、12月議会一般質問でも取り上げさせていただきました。

また、10月7日には、長崎県島原市を会派緑風会で行政視察してきました。視察項目は、1) 島原健康半島構想、2) 地域提案型雇用創造促進事業、3) 大会・会議、コンベンション支援、の3つです。島原市は1990年から5年半にも及ぶ雲仙普賢岳の火山活動により、人口減少、観光客減少、さらに企業の撤退もあり、地域経済は停滞してしまいました。

島原市には日本三大薬草園跡があり、薬草をキーワードに産業振興、雇用創出を目指しています。また、助成制度を設け、島原市内での大会や会議等の誘致をしています。視察事項は、12月議会一般質問「交流人口増加策」の参考にさせていただきました。



★ 第11回オープンミーティング ★

※) 開催日・テーマ等については、ホームページにてご案内させていただいております。

市民との直接対話の場として、12月1日に市民会館にて開催しました。今回は直近の懸案事項として、ごみ袋指定制、競馬場跡地への調剤薬局整備、事業仕分けの3つのテーマで、皆様との意見交換を行いました。参加者からは「ごみ減量は生産や流通から考えなければならない」、「患者の利便性をいうなら薬局は院内処方がいちばん」、「事業仕分けの廃止に福祉部門が多いのは問題」などの意見が出されました。皆様から頂戴した意見は、12月議会の一般質問や委員会質疑の参考にさせていただきました。

織原義明のおもな活動(2009年10~12月)

- 10月7日 緑風会会派行政視察(島原市)
- 10月8,9日 第71回全国都市問題会議(熊本市)
- 10月16日 防災・安全・復興に関する国際シンポジウム(長岡市)
- 10月17日 全国災害ボランティア議員連盟設立総会(長岡市)
- 10月18日 第47回足利市民総合選手権大会総合開会式
- 10月20日 全員協議会、広報委員会
- 10月25日 第2回足利百人一首かるた競技大会(市民武道館)、足利市事業仕分け
- 10月29,30日 経済環境常任委員会行政視察(仙北市、盛岡市)
- 11月2日 両毛六市若手議員懇談会研修会(佐野市)
- 11月3日 平成21年度足利市民文化賞贈呈式
- 11月6日 議会改革推進協議会理事会
- 11月8日 公設市場祭り、第42回足利市勤労者表彰式
- 11月9日 会派別予算要望及び市長との懇談会
- 11月13日 第29回足利市産業振興貢献企業賞表彰式
- 11月16,17日 鎌倉市行政視察(姉妹都市交流)
- 11月20日 議会運営委員会、ごみ減量化に関する調査研究会全体会
- 11月21日 三大陶器まつりオープニングセレモニー(栗田美術館)
- 11月22日 「百人一首競技かるた」模範試合(足利学校)
- 11月23日 足利学校「釋奠(せきてん)」
- 11月24日 全員協議会、競馬場跡地活用調査特別委員会
- 11月26日 足利市行政改革推進委員会
- 11月30日 市議会12月定例会本会議
- 12月1日 第11回オープンミーティング
- 12月7,8日 市議会12月定例会本会議
- 12月9日 市議会12月定例会本会議にて一般質問
- 12月11日 経済環境常任委員会、経済環境臨時常任委員協議会
- 12月12日 エコプロダクツ2009(東京)
- 12月17日 議会運営委員会、市議会12月定例会本会議、競馬場跡地活用調査特別委員会
- 12月25日 全員協議会
- 12月28日 競馬場跡地活用調査特別委員会

※ホームページでは、毎週の活動報告等を随時更新しています。

<http://www.watarase.ne.jp/orihara/>

<政務調査費の公開>

足利市では市議会議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として議員個人に対し、年間84万円の政務調査費を交付しています。その収支報告書は、情報開示により閲覧が可能です。

4~12月分合計(暫定)

収入 630,000円 - 支出 660,433円 = - 30,433円

<内訳>

研究研修費：61,090円、調査旅費：102,715円、資料作成費：400円、人件費：0円

資料購入費：56,302円、広報広聴費：363,625円、事務費：76,301円、その他の経費：0円

この市政レポートは政務調査費により作成されています。